

安倍昭恵「書」× 裕人礫翔「箔」 アート展「結（ゆい）」清水寺・成就院にて開催

2025年11月1日（土）から9日（日）までの9日間、京都・清水寺 成就院にて、
安倍昭恵と裕人礫翔による、書と創作箔のアート展「結（ゆい）」を開催いたします。



2025年11月1日（土）から9日（日）までの9日間、京都・清水寺 成就院にて、書というアートでメッセージを伝える表現者としての安倍昭恵による、初の個展を開催する運びとなりました。記念すべき第一回目となる本展では、箔アーティストで伝統工芸士でもある裕人礫翔とのコラボレーションによりアート作品展「結（ゆい）」を開催いたします。（公式HP：<https://abeakie-art.jp/yui>）

安倍晋三元総理と親交のあった裕人礫翔氏が、安倍氏を想い制作した作品に偶然出会い、心を打たれた昭恵氏。彼女の「世界平和を願う思い」に礫翔氏も深く共鳴し、アーティスト同士としての共同企画が実現しました。「書」と「箔」——異なる表現が重なり合った作品によって、言語や文化、環境や思想の違いを越えて、人と人が絆を結び、未来へと歩んでいきたいというメッセージを伝えます。

アーティストについて



あべ あきえ
安倍 昭恵

首相夫人として国際社会における多くの活動に携わり、教育、環境、文化交流など幅広い分野で発信を続けてきた。この度、自然や人との結びつきを大切にしながら、表現者としての新たな一歩を踏み出す。書に向き合うきっかけとなったのは、夫・安倍晋三元首相の母の存在。書に秀でていた義母に憧れ、自らも上達したいという思いから筆を取り、書の世界に深く魅了されていった。言葉に宿る力を表現し、人と人を結ぶものとしての書を探求している。2025年秋、書家としてのアートデビューを飾る個展を清水寺で開催。テーマは「結（ゆい）」。人と人、伝統と現代、日本と世界をつなぐ“結び”を表現する書の世界を、箔アーティスト・裕人礫翔氏とのコラボレーションにより、新しい形で昇華させる。「アートは境界を越えて人々を結ぶことができる」という信念のもと、安倍昭恵は書を通じて未来への希望とメッセージを届けていく。



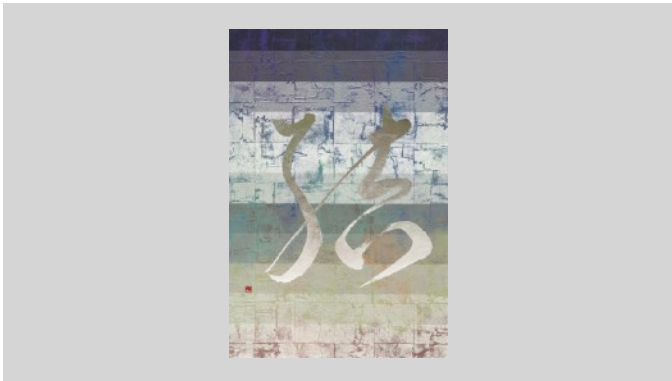
ひろと らくしょう
裕人 礫翔

箔アーティスト・伝統工芸士。1962年、京都・西陣生まれ。西陣の引き箔士である父から受け継いだ伝統技術をもとに、箔工芸の新しい表現を切り拓いてきた。1万分の1ミリという極限の薄さの箔を操り、その煌めきで人々を無限の世界へ誘う独自の作品は、国内外で高く評価されている。日本の伝統工芸を未来に伝え残すという志のもと、ニューヨーク、パリ、ロンドン、クウェート、シンガポールなど世界各地で作品を発表。さらに建仁寺をはじめとする神社仏閣において、屏風や襖絵などの文化財復元も手掛ける。主な活動歴として、G7伊勢志摩サミット（三重県・2016）、ART FAIR TOKYO（2017・2019・2022・2023）、ルーヴル美術館での日仏交流展（2008）、上海万博（2010）、National Gallery Singapore（2022）、Conrad Centennial Singapore個展（2024）などが挙げられる。その表現は、ファッションや映画とのコラボレーションにも及び、GIVENCHY「Le Rouge Kyoto Edition」の制作や、映画『検察側の罪人』『燃えよ剣』『HELL DOGS』などに作品を提供している。比類なき存在感を放つ箔アートの第一人者として、伝統と革新を融合させた創作活動が続けている。

作品について

日本の芸術の原点である「書」と、伝統の彩と技が異彩を放つ「箔」。二つの表現が出会うことで、新たな美が生まれます。本展では、礫翔氏の箔作品をベースに、祝の言葉や花鳥風月の趣きが溢れる古典など、昭恵氏が書を重ねた約30点のコラボレーション作品を展示いたします。以下に作品の一部をご紹介します。

「結 Connect people」

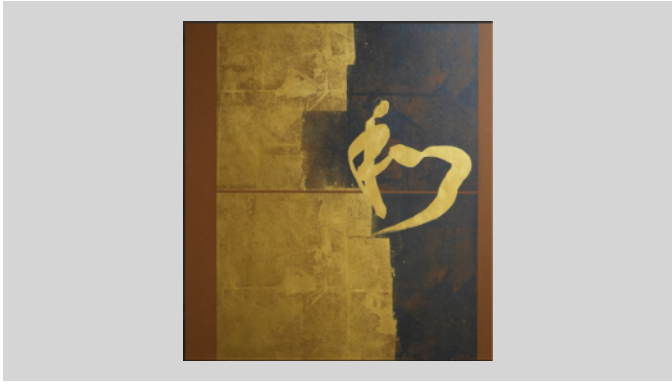


「結」は、祝詞を表す「吉」に「糸」を むすんだ文字です。人をむすび、地域をむすび、私たちから色々なものを結び、つなげていければ。（和紙・プラチナ箔・色粉箔）

「あなたと私 You & I」



「結」の文字の音と重なるYou & I。「二人」というニュアンスとも違う「あなた」と「私」。間に「&」が入るのもいいね。（和紙・本銀箔・パール粉箔）



和を以て尊しと為す。人も自然も調和と協調のなかで睦まじくあるように。令和という美しい年号にも込められた「平和」への理想を。（和紙・本金箔・本銀箔）



花は 花は 花は咲くいつか生まれる君に花は 花は 花は咲く わたしは何を残しただろう（和紙・本金箔）

会場について



きよみずでら
清水寺

展覧会の舞台は「古都京都の文化財」を構成する世界遺産の一つである清水寺。長い歴史の中で日本の宗教・文化を象徴してきた由緒ある寺院で、世界に向けた平和のメッセージを発信します。
陰翳礼讃、庭園、光と影、金箔の輝き、朝昼晩と違う輝きの元で素晴らしい季節に差し掛かる日本を代表するお寺と、そしてご来場くださる皆さまとのコラボレーションによって、唯一無二の体験を生み出します。



じょうじゅいん
成就院

本展では、通常是非公開の「成就院」を特別に会場として使用いたします。寺院内に所在する「月の庭」と呼ばれる庭園は、江戸時代初期に作庭された借景式・池泉鑑賞式の庭園として知られており、国の名勝にも指定されています。古寺の建築美と名庭「月の庭」を眺めながら、秋の京都の風情をどうぞご堪能ください。

タイトル「結」に込めた想い

結 ーゆいー「結」は「糸」と「吉」で成り立つ文字です。「吉」は古来、祝賀の様子を模した象形文字で吉祥や幸運なことを示します。そんな「吉」の文字に「糸」をつけることで、結んで維持するという意味の「結」になりました。言語や文化、環境や思想が違ってても、国境や世代などあらゆる垣根を飛び越え、絆を結び未来に向かいたい。人を、地域を、いろいろなものを結びつなげていきたい。それは、アートならできること。アートだからこそできること。この展覧会のタイトル「結」には、そんな願いが込められています。



展覧会概要

展覧会名：安倍昭恵「書」× 裕人礫翔「箔」

アート展「結（ゆい）」

会 期：2025年11月1日（土）～11月9日（日）

会 場：音羽山 清水寺

（〒605-0862 京都府京都市東山区清水1丁目294）

開館時間：9:00～17:00

（最終受付16:30、最終日は15:00まで）

入 場 料：600円

協 力：清水寺

主 催：Akie Abe × Hiroto Rakusyo アート展示会実行委員会

公式HP： <https://abeakie-art.jp/yui>

会場・成就院

本堂

仁王門（正門）



お問い合わせ

Akie Abe × Hiroto Rakusyo アート展示会実行委員会

info@abeakie-art.jp



<https://abeakie-art.jp/yui>